

逗子駅にて『連合神奈川ピースウィーク』を34名で行い核兵器廃絶を訴える!



～逗子市桐ケ谷市長、牧山ひろえ・水野もと子両参議院、三浦半島地域連合議員団（近藤大輔神奈川県議会議員、高野たけし・服部誠両逗子市議会議員、中村かずお・待寺真司両葉山町議会議員）を含む34名で実施～



三浦半島地域連合は地域に『顔の見える活動』として、毎月街頭活動を行っています。今回は8月5日（月）18時から逗子駅にて、『連合神奈川ピースウィーク』として、連合神奈川安部副事務局長、逗子市桐ケ谷市長、牧山ひろえ・水野もと子両参議院議員、三浦半島地域連合議員団（近藤大輔神奈川県議会議員、高野たけし・服部誠両逗子市議会議員、中村かずお・待寺真司両葉山町議会議員）を含む34名で行いました。



ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ地区侵攻をはじめとして世界では平和が脅かされるような出来事が頻発しています。

来たる8月6日、9日は広島市及び長崎市に原爆が投下されて79年目の「原爆の日」にあたります。この「原爆の日」に先立ち、5日に核兵器廃絶や戦争反対・恒久平和を逗子市民に訴えかけました。



及川議長の進行で桐ケ谷市長をはじめ、議員さんが平和などを訴える中、約1時間で、ピースウィークチラシが入ったティッシュ1,500セット及びうちわの配付を終了しました。

原爆死没者のご冥福と、核兵器の廃絶並びに世界の恒久平和の実現を祈念する絶好の機会となりました。今後も連合方針に沿い、恒久平和の実現に向けて活動していきます。

